

熱い声援 ホーム白星を

レバンガ、横浜と激突



発行所
北海道新聞社
 郵便番号 060-8711
 札幌市中央区大通西3-6
 電話 011(221)2111
 ©北海道新聞社 2017



インターネットで道新ニュース
dd.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104



日本代表に選ばれ、次世代を担う西川 (右から2人目)

バスケットボール男子
 Bリーグ1部のレバンガ
 北海道の「対横浜ビー・
 コルセアーズ戦」が26日
 午後2時から、前日に引
 き続き北海きたえーるで
 開かれる。北海道新聞社

は同日、「創業130周年
 プレゼンツ」として多
 彩な催しを実施し、レバ
 ンガの勝利を後押しす
 る。
 Bリーグはシーズン後
 半に突入。前半で苦戦を

強いられたレバンガは前
 節(2月22日現在)まで
 で、12勝27敗と負けが先
 行している。1月は3勝
 2敗と勝ち越したが、2
 月は2勝3敗と厳しい状
 況が続く。レバンガは現
 在1部の東地区4位で、
 安全圏で1部残留を果た
 すには、一つでも多くの
 勝ち星を積み重ねる必要
 がある。持ち味の組織力
 を生かしたプレーを期待
 したい。



シュートを放つバスケット界のレジェンド折茂

26日は、先着3千人に
 レバンガ選手と北海道新
 聞のキャラクター「ぶん
 ちゃん」がプリントされ

△**入れ替え戦**▽
 Bリーグに所属しているバ
 スケットボールチームは全
 国に45チームあり、1部と2部
 にそれぞれ18チーム、3部9
 チーム。レバンガ北海道は、
 最上位の1部で戦っている。
 1部と2部、2部と3部は
 入れ替えがある。1部の入れ
 替えは5月まで続くレギュラ
 ーシーズン(60試合)が終わ
 った後、1部の下位4チーム
 で「残留プレーオフ」を行う。
 レバンガ北海道は2月22日現
 在、1部リーグの下から5位
 に位置している。このまま下
 位から5位以上をキープして

レギュラーシーズンを終えれ
 ば、来シーズンも1部となる。
 ただし、下位4位以内に入
 ってしまえば残留プレーオフ
 に進む。
 残留プレーオフは4チーム
 がトーナメント戦で実施する。
 1回戦で2勝した2チームが
 残留決定戦(1試合)を行い、
 勝ったチームが1部に残留。
 負けたチームは、2部の3位
 チームと入れ替え戦を行い、
 勝ったチームが1部となる。
 残留プレーオフの1回戦で
 負けた2チームは2部に降格
 し、2部の1、2位のチーム
 が1部に昇格する。

たオリジナルハンドタオ
 ルをプレゼントする。さ
 らに、先着20人(小学生
 以下)には「記念日新聞」
 として、試合開始前に撮
 影した選手との記念写真
 入りの新聞を特別に作製
 する。
 試合前には札幌市内の
 小学生から募集した「エ

スコートキッズ」14人が
 登場するほか、中学生1
 人が始球式も行う。試合
 前やハーフタイム時には
 会場内を北海道新聞のキ
 ャラクター「ぶんちゃん」
 がレバンガの「レバード」
 とともに歩き、記念撮影
 も可能。ハーフタイムで
 はレバンガ全選手のサイ
 ン入りユニホームなど計
 104点が当たる「道新
 お楽しみ抽選会」も企
 画している。
 また、ロビーでは道新
 &道スポ購読キャンペーン
 として、半年以上の購
 読契約をした人にもれな
 く、好きな選手とぶんち
 ゃんのキャラクターをプ
 リントしたサイン入りの
 「Tシャツ」もしくは「ト
 ートバッグ」を届ける。

一番で強さを発揮する桜井



アグレッシブな守備が光る松島

攻防 激しく

Bリーグ元年の2017年は、レバンガ北海道。一時は負傷者が相次いだだが、6-17シーズン、1部リーグに選手10人で参戦し補強を重ね、現在は14選手態勢で後半戦に臨んでいる。ファンの声援にこたえようと勝利を目指している。(浜本道夫撮影)



攻守ともに大活躍のミラー



ケガを乗り越え奮闘する牧



司令塔としてチームを引っ張る多嶋

ミニルール解説

△24秒ルール▽ オフェンス(攻撃)側は、ディフェンス(守備)からオフェンスに切り替わった時から、24秒以内にシュートをしなければいけない。また、自分の陣地でボールを取ってから8秒以内に

相手コートに入り、攻撃をする必要がある。シュートをしてボールがリングに当たった瞬間に、24秒はリセットされる。このボールをディフェンス側が取れば24秒、オフェンス側が取れば14秒というルールが始まる。バスケットボードの上部に24秒計が設置されている。△ファウル▽ 相手選手の手

をつかむ、たたくといった不当な体の接触などが行われた際の反則行為の総称。一人の選手が1試合で5回ファウルを行うと退場となる。攻撃側がシュートを放つ態勢の時に防衛側がファウルをすると、攻撃側にフリースローが与えられる。また、一つのクォーター内でチーム全体のファウルが5回を

超えた時には、シュート動作中であつてもなくても相手チームに2投のフリースローが与えられる。ただし、5回目以降のチームファウルであっても、攻撃側がファウルをした場合は相手チームにフリースローは与えられず、スローインでゲームを再開する。